

## 健診後のフォロー

### 動 向

予防医学協会は、健康診断はもとより、健診後の二次検査、各種外来を利用した経過観察や保健相談、健康教育など総合的なフォローアップ体制で健康管理を支援している。

健康診断の受診者総数は、統計表（検診・検査の種目別実施数）を参照していただき、外来の実施数は下記のとおりである。

平成18年度における施設での健診後のフォロー体制は、より個人に即した対応を目指し、①精密検査の体制、②事後指導の体制、③生活習慣改善プログラム、の三つの側面から受診者を支援している。

#### 事後フォローの体制

#### 消化器外来

消化器検診、腹部超音波検査の精密検査およびフォローアップを実施している。（胃集団検診・超音波検診参照）

#### 循環器外来

人間ドック、定期健康診断などの循環器系有所見者の精密検査、フォローアップ、生活指導などを実施している。（循環器精密検診参照）受診者 1,776名

#### 生活習慣病外来

定期健康診断、その他の生活習慣病関連項目で、所見のあった受診者に対して再検査、精密検査を実施し事後指導を行っている。幅広い範囲の生活習慣を改善することを目的とする外来で、結果に応じて外来でのフォロー、他院への紹介やメタボリック（内臓脂肪）外来、生活習慣病改善プログラムへの参加を勧奨している。受診者 658名

#### メタボリック（内臓脂肪）外来

メタボリックシンドロームは、診断基準が示され、内臓脂肪型肥満に着目した保健指導の重要性が認識され、平成18年8月より当協会では、メタボリック（内臓脂肪症候群）外来を開設している。6ヶ月のコースでは、初回到腹部CTを実施、内臓脂肪面積を測定し動機づけを行う。期間中に歩数計、50g精密体重計、血圧計を貸し出し自己管理を行い、管理栄養士による食事調査とあわせて月に1回医師、管理栄養士が面談し指導、評価を行う。受診者 143名

### 労災保険二次健康診断

職域における心疾患・脳血管疾患の予防、早期発見を目的として、平成13年より生活習慣病外来で実施している。定期健康診断でBMI、血圧、脂質、血糖の4項目全てで所見のあった受診者に対し血液検査、頸部エコー、負荷心電図（心エコー）を行い、保健指導を実施している。必要な場合、各専門医療機関への紹介を行う。受診者 56名

#### 腎臓病外来

昭和51年から学校検尿で管理が必要な学童に対して、月1回腎精検のための外来を設けた。その後学童の家族相談、事業所の健診などで腎疾患の疑いのある人も対象とした。受診者 87名

#### 糖尿病外来

糖尿病の大多数は、生活習慣が発病に大きく関与する2型糖尿病であり、健診後に所見のあった人に事後指導を行う。受診者 83名。

#### 女性クリニック

更年期障害をはじめ女性の不特愁訴などの相談に応じている。年齢階層別は50歳～55歳を中心に45歳～60歳に多く、ホルモン補充療法に対する要望も多い。受診者 20名

#### 骨粗しょう症外来

骨粗しょう症予防検査で生活注意、要治療の人の事後措置を行っている。受診者 128名。

#### 禁煙外来

ニコチン依存症は、長年議論はあり現在ではニコチンには精神的依存性だけでなく、肉体的依存性もある事が明らかとなり、「ニコチン依存管理料」が健康保険適用になりました。

当外来では『禁煙治療のための標準手順書』に従い、ニコチン依存度のスクリーニングテスト（TDS）とプリマリン指数（1日の喫煙本数×喫煙年数）によって保険適用の是非を確認し、ニコチンパッチ剤を処方します。受診者の方には3ヶ月間の間に5回ほど受診していただき呼気中の一酸化炭素濃度の測定結果をグラフなど視覚で確認しながら専門医師、専任看護師、薬剤師がチーム医療として禁煙のサポートをして、禁煙成功者には認定証を渡しています。受診者 186名。